

【関東大震災から100年 特別企画展】

2023年
関東大震災 100年

100th
荒川放水路
通水100周年記念

荒川の防災・減災・縮災

— いつかは起こる巨大地震への備え —



【開催期間】令和5年

12月13日

水

令和6年

1月28日

日



amoa
ARAKAWA
MUSEUM
OF AQUA

荒川知水資料館

【開館時間】平日9:30~17:00、土日祝10:00~17:00(11月~2月は16:30閉館)

【休館日】月曜日(祝日除く)、月曜日が祝日の場合翌平日、年末年始

入館無料

今年、1923年9月1日に発生した関東大震災から100年を迎える節目の年にあたります。死者・行方不明者は推定10万5,000人と、明治以降の日本の地震被害としては最大規模の被害が生まれました。

本企画展は、多数の人命が犠牲になった関東大震災を振り返るとともに、いつ起こるかわからない巨大地震に対して、荒川で進められている防災・減災・縮災の取り組みについて紹介します。

1. 関東大震災による被害

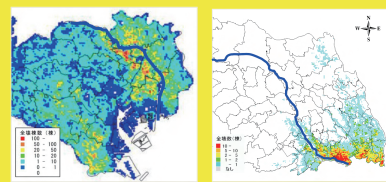
当時の写真や絵画をもとに多数の人命を失った関東大震災の被害状況を振り返ります。また、建設中であった荒川放水路での被害状況を写真とともに紹介します。



関東大震災による破堤

2. 荒川下流部の被災想定

東京都や埼玉県が公表した資料にもとづき、最大被害が想定される地震が発生した場合の荒川下流部周辺の家屋の倒壊や焼失などの被害想定を紹介します。



地震による荒川下流部の被害想定

3. 荒川の防災・減災・縮災

荒川下流部では、首都圏で大規模な地震が発生した場合に備えて「河川防災施設」を整備しています。また、関係機関との連携・協力による防災訓練や情報共有を実施しています。こうした施設整備や訓練などの荒川で日頃から進められている防災・減災・縮災の取り組みについて紹介します。



関係機関と共同で実施する防災訓練

「アモア防災講座」

大地震や台風などの自然災害に備えるため、防災講座を開催します。講座では、非常時に役立つ知識や技術を学ぶことができます。

開催期間:2024年1月27日(土) 13:00~14:00

開催場所:荒川知水資料館2F シアタールーム

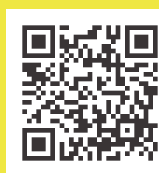
対象:一般

定員:20名(先着順)

参加費:無料

<参加方法>

下記の申込フォーム(QRコード)からお申込みください。



申込フォーム



アクセス

南北線「赤羽岩淵駅」または「志茂駅」徒歩約15分
JR「赤羽駅」徒歩約20分(タクシーで約10分)
都営バス「岩淵町」または「志茂2丁目」徒歩約15分
専用駐車場はありません。土日は東京都北区荒川岩淵関緑地駐車場(有料)がご利用いただけます。平日は周辺のコインパーキングをご利用ください。

荒川知水資料館 入館無料

[開館時間] 平日 9:30~17:00(11月~2月は16:30閉館)
土日祝10:00~17:00(11月~2月は16:30閉館)

※入館は閉館時間の30分前まで

[休館日]月曜日(祝日除く)、月曜日が祝日の場合翌平日、年末年始
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1 TEL. 03-3902-2271
<https://www.ara-amoa.com/>



amoA
ホームページ